



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 文化シヤッター株式会社  
 コード番号 5930 URL <http://www.bunka-s.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 潮崎 敏彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 西村 浩一

TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日 2020年8月4日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	37,197	1.3	410	497.5	564		42	
2020年3月期第1四半期	36,704	14.1	68		287		483	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,229百万円 ( %) 2020年3月期第1四半期 564百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.59	0.52
2020年3月期第1四半期	6.74	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	158,659	75,030	47.2
2020年3月期	165,874	77,157	46.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 74,867百万円 2020年3月期 76,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		12.50		12.50	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当につきましては、現時点では業績予想の算定が困難であるため、未定とさせていただきます。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の範囲や終息時期が見通せない状況において、今後の受注活動等への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	72,196,487 株	2020年3月期	72,196,487 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	503,354 株	2020年3月期	503,258 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	71,693,205 株	2020年3月期1Q	71,693,386 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現時点において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想に関する事項については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発令を受け、外出自粛及び休業要請等の影響により企業活動や個人消費が停滞し、極めて厳しい状況となりました。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、民間設備投資については減少が見込まれる中で、新型コロナウイルス感染の範囲や終息時期が見通せない状況にあっては、今後の受注活動が制限されることも懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、37,197百万円(前年同四半期比1.3%増)となり、利益面においても、当社グループの全部門において利益の確保に全力で取り組みました結果、営業利益は410百万円(前年同四半期比497.5%増)、経常利益は564百万円(前年同四半期は経常損失287百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失483百万円)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

#### 1. シャッター関連製品事業

住宅向けの窓シャッター等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,143百万円(前年同四半期比0.2%増)となり、営業利益は949百万円(前年同四半期比7.3%増)となりました。

#### 2. 建材関連製品事業

オフィスビル及び大型商業施設向けのスチールドア等が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,875百万円(前年同四半期比6.9%増)となりましたが、営業損失は0百万円(前年同四半期は営業損失380百万円)となりました。

#### 3. サービス事業

緊急修理対応及び定期保守メンテナンス契約等が堅調に推移しました結果、連結子会社文化シャッターサービス株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,902百万円(前年同四半期比2.6%増)となりましたが、営業利益は387百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

#### 4. リフォーム事業

ストック市場への取り組みとして、ビルの改修等を手掛けるリニューアル事業及び住宅用リフォーム事業に注力しておりますが、市場における競争激化の影響によって、連結子会社B X ゆとりリフォーム株式会社を中心に、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,001百万円(前年同四半期比41.1%減)となり、営業損失は119百万円(前年同四半期は営業損失12百万円)となりました。

#### 5. その他

社会問題化しているゲリラ豪雨等に対する浸水防止用設備を手掛ける止水事業が堅調に推移しました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,275百万円(前年同四半期比1.5%増)となりましたが、営業利益は123百万円(前年同四半期比4.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は158,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,214百万円減少しました。流動資産は90,566百万円となり、5,578百万円減少しました。これは、現金及び預金が増加(2,875百万円)、商品及び製品が増加(1,030百万円)した一方で、受取手形及び売掛金が減少(10,001百万円)したことが主な要因であります。固定資産は68,092百万円となり、1,636百万円減少しました。これは、のれんが減少(671百万円)、無形固定資産のその他が減少(501百万円)、有形固定資産のその他が減少(241百万円)、投資有価証券が減少(207百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債は83,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,087百万円減少しました。流動負債は50,076百万円となり、4,735百万円減少しました。これは、流動負債のその他が増加(1,334百万円)、短期借入金が増加(1,028百万円)した一方で、支払手形及び買掛金が減少(4,248百万円)、賞与引当金が減少(1,541百万円)、未払法人税等が減少(1,269百万円)したことが主な要因であります。固定負債は33,553百万円となり、352百万円減少しました。これは、退職給付に係る負債が増加(52百万円)した一方で、固定負債のその他が減少(329百万円)、長期借入金が増加(62百万円)したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は75,030百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,126百万円減少しました。これは、その他有価証券評価差額金が増加(172百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(42百万円)により増加した一方で、為替換算調整勘定の減少(1,424百万円)、配当金の支払い(896百万円)により減少したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染の範囲や終息時期が見通せない状況において、今後の受注活動等への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,727	28,602
受取手形及び売掛金	46,640	36,639
商品及び製品	14,350	15,380
仕掛品	1,000	1,005
原材料及び貯蔵品	4,335	4,490
その他	4,202	4,549
貸倒引当金	△111	△101
流動資産合計	96,144	90,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,069	10,938
土地	12,475	12,475
その他(純額)	9,399	9,157
有形固定資産合計	32,944	32,572
無形固定資産		
のれん	4,543	3,871
その他	5,410	4,908
無形固定資産合計	9,953	8,780
投資その他の資産		
投資有価証券	16,998	16,790
退職給付に係る資産	1,658	1,640
その他	8,516	8,653
貸倒引当金	△342	△344
投資その他の資産合計	26,830	26,739
固定資産合計	69,729	68,092
資産合計	165,874	158,659

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,703	29,454
短期借入金	2,284	3,312
未払法人税等	1,632	363
賞与引当金	3,416	1,874
役員賞与引当金	127	45
工事損失引当金	118	162
その他	13,528	14,862
流動負債合計	54,811	50,076
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	266	203
役員退職慰労引当金	357	344
退職給付に係る負債	19,023	19,075
資産除去債務	53	53
その他	4,205	3,875
固定負債合計	33,905	33,553
負債合計	88,717	83,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	12,304	12,304
利益剰余金	47,564	46,710
自己株式	△156	△157
株主資本合計	74,763	73,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,620	2,792
土地再評価差額金	△76	△76
為替換算調整勘定	△317	△1,741
退職給付に係る調整累計額	6	△16
その他の包括利益累計額合計	2,233	958
非支配株主持分	160	162
純資産合計	77,157	75,030
負債純資産合計	165,874	158,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	36,704	37,197
売上原価	27,222	27,864
売上総利益	9,482	9,333
販売費及び一般管理費	9,413	8,922
営業利益	68	410
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	175	177
為替差益	—	255
その他	61	70
営業外収益合計	243	508
営業外費用		
支払利息	35	44
持分法による投資損失	373	297
為替差損	158	—
その他	31	13
営業外費用合計	599	354
経常利益又は経常損失(△)	△287	564
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取保険金	—	18
特別利益合計	0	19
特別損失		
固定資産除却損	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△289	580
法人税等	191	535
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△480	45
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△483	42

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△480	45
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	131
為替換算調整勘定	204	△1,362
退職給付に係る調整額	△56	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△11
その他の包括利益合計	△84	△1,274
四半期包括利益	△564	△1,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△567	△1,232
非支配株主に係る四半期包括利益	2	3



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	14,119	14,848	4,777	1,701	35,447	1,257	36,704	—	36,704
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	989	7	227	0	1,224	38	1,262	△1,262	—
計	15,108	14,856	5,004	1,702	36,671	1,295	37,967	△1,262	36,704
セグメント 利益又は損失 (△)	884	△380	432	△12	924	128	1,052	△983	68

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電システム事業、止水事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△983百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△980百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「シャッター関連製品事業」セグメントにおいて、連結子会社であるBX BUNKA AUSTRALIA PTY LTDが新たにARCO(QLD)PTY LTDの株式を取得し、同社及びその子会社であるRETROTECH DOOR SERVICES PTY LTDを連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては312百万円であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	シャッター 関連製品 事業	建材関連 製品事業	サービス 事業	リフォーム 事業	計				
売上高									
外部顧客 への売上高	14,143	15,875	4,902	1,001	35,922	1,275	37,197	—	37,197
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	901	4	121	63	1,089	55	1,145	△1,145	—
計	15,044	15,879	5,023	1,065	37,012	1,331	38,343	△1,145	37,197
セグメント 利益又は損失 (△)	949	△0	387	△119	1,216	123	1,340	△929	410

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、止水事業、太陽光発電システム事業、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業、建築設計事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△929百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△925百万円、棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。